



みなさん、シーニック・バイウェイという言葉を知っていますか？ シーニック・バイウェイとは、アメリカが発祥で景観のよい(シーニック)、寄り道(バイウェイ)と言う意味です。日本では、風景街道と訳され、道を通して地域活性化や観光振興に取り組んでいる134のルートがあります。

本誌では、九州風景街道の一つ「日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)」の活動や旬の地域資源等について、地域の皆さんや道路利用者の方々にご紹介するものです。 =平成22年2月1日の発行から4年と5ヶ月、遂に50号です。=

今月のシーニック・バイウェイ



日豊海岸国定公園は40周年

日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)ルートの海岸線は「日豊海岸国定公園」のエリア内です。「日豊海岸国定公園」は1974年(昭和49年)2月15日に指定され今年40周年を向かえました。複雑なリアス式海岸は景観も良いが、美味しい魚が捕れる好漁場でもあります。

撮影場所: 背平山(H25.5)

地域資源（宝）の紹介コーナー

このコーナーでは、日豊海岸シーニック・バイウェイエリアの旬の地域資源(宝)等を紹介します

梅雨明け、夏本番。海水浴シーズン到来！ 日豊海岸シーニック・バイウェイエリアの海水浴場を紹介します。

◆延岡市北浦エリア



←下阿蘇ビーチ

下阿蘇ビーチは、快水浴場百選に選ばれており、その中でも評価の高い「海の部特選」に選ばれるほどきれいなビーチです。美しい白浜が自慢で、近くにキャンプ場やレストランもあり最高の立地です。県最北端の海水浴場として多くの人で賑わっています。

須美江海水浴場は、近くにテニスコートやキャンプ場などもあるため、海水浴の他にいろいろなレジャーを楽しむことのできるビーチです。



須美江海水浴場→



←熊野江海水浴場

熊野江海水浴場は、約800mの砂浜が続く穏やかな海岸です。海水浴場の西側にある鏡山山頂から飛び立つパラグライダー、ハングライダーの着地地点でもあります

◆佐伯市蒲江エリア



元猿海水浴場

神事の様子

元猿海水浴場で7月2日に、観光協会蒲江支部主催で海開きの神事が執り行われいよいよ夏本番です。

元猿は「日本の渚100選」に、波当津は「日本の白砂青松百選」に選ばれている海水浴場です。他の海水浴場もきれいですよ。

写真に小さく写っていますが元猿、丸市尾では早くも海遊びを楽しんでいる方々がいました。※波当津海水浴場は7月12日から8月31日の間駐車料金が発生します。料金収入は、浜・トイレ・シャワー室の清掃などに使われています。ご理解とご協力をお願いします。



高山海水浴場



丸市尾ふるさと海岸



葛原海水浴場



波当津海水浴場

多くの関係者の支援により海水浴を楽しめます。綺麗に安全に利用しましょう。



食



◆深海エビ(佐伯市蒲江)

選別され氷水で冷やされた深海エビ→

深海エビ漁が、7月から1ヶ月限定でスタートしました。深海エビは、赤エビやシバエビ等の総称です。昼間に「底びき網」で捕り、港に水揚げされたらその場で他の小魚と選別され氷水で冷やすことにより鮮やかな赤みを帯びます。主にお菓子などの加工品の材料となるようですが「**かき揚げ**や**唐揚げ**にして食べても美味しい」とのことです。



水揚げされ選別中の深海エビ→



自然・景観資源



観音滝

◆観音滝(延岡市北浦町三川内)

北浦町の中心部から国道388号を北上し、古江トンネルを抜け約2km進み右折し小道に入って行ったところに観音滝があります。

落差8mと7mの2本の滝が競いあうように流れ落ちる観音滝、四季折々に姿を変化させます。滝壺まで遊歩道(約1km)が整備されており近くまで歩いて行くことができ、現在の観音滝がどのような姿をしているか!と言うと.....是非!足を運んで実際に見て確かめてください(≧ω≦)



◆ハンゲショウ(佐伯市蒲江)

西野浦洲の本にある「大池・小池公園」の大池の中で”ハンゲショウ”が開花しています。近年では育成に適した土地が減少したことから地域によっては絶滅が危惧されています。

花のすぐ下の葉が白く変化するのが特徴です。漢字で半夏生、半化粧と記載され、花の一部が白くなることから片白草(カタシログサ)とも呼ばれています。



大池に自生しているハンゲショウ



お知らせ ◆第17回マンボウカップパラグライダー大会

7月26日(土曜日)午前11時頃から高平山でパラグライダー大会が開催されます。標高230m地点から飛び立ち、元猿海岸の砂浜の的へ降り立つ正確さを競うものです。大空に優雅に舞う色とりどりのパラグライダーは、見ただけで雄大な気分になります。

たかひら展望公園にあがって飛び立つところを見て滑空する様子を見下ろすのも、元猿海岸で上空から降りてくる様子を見上げるのも楽しいです。



過去の大会模様

お知らせ ◆北浦IC～須美江IC「リゾートパーク」愛称決定！



ロゴマーク

“遊パーク”は、リゾートパーク、“うみウラ”は、北浦、須美江などの美しい海と北浦、島野浦、浦城などの海岸を表す「浦(ウラ)」を総称したイメージを表現したとの事です。

また、この愛称をもとに、延岡市在住のデザイナー・みよこみよこさんが**ロゴマークを作成しました**。「ひむか遊パーク」は海と空の青で表現し、「遊」のしんによる部分は波に乗って遊んでいるような楽しい形で、しんによる点の部分はオレンジ色にして太陽をイメージしたとの事です。愛称に関する決定セレモニーと授賞式は、7月19日に下阿蘇ビーチで行う海水浴場開きの後に開催予定です。

延岡市が募集を行っておりました、東九州道 北浦IC～須美江IC 付近の「リゾートパーク」の愛称(大漁海道便り48号で掲載済み)が、「ひむか遊パークうみウラ」に決定しました。全国47都道府県から2266点の応募があり、選考の結果、延岡市在住の神崎勝久さん(55)が応募した「ひむか遊パークうみウラ」が最優秀賞に選ばれました。

東九州道建設情報



東九州道PR誌

佐伯河川国道事務所では3ヶ月に1回東九州自動車道の進捗状況等をお知らせする、「新直轄東九州自動車道(佐伯～県境)」を発行しています。先月は19号が発行されました。どこかで見かけられたら是非お手にとって見て下さい。上記については、当事務所のHPにも掲載しています。



19号表と裏面

東九州自動車道の工事進捗状況写真が下記URLでご覧いただけます。

佐伯～蒲江間URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/saiki/higashisnchoku/higasikyushuu.html>

北浦～須美江間URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/nobeoka/douro/higasikyushu/index.html>



◆ 日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)のホームページ ◆
URL: <http://nipou-kaigan.kirara.st/>

旬の情報を毎月発信中 皆様からの情報提供をお待ちしております。

問い合わせ先

日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

〒876-0831 大分県佐伯市大手町2丁目3番8号(佐伯市観光協会内)
tel 0972-23-1101 fax 0972-23-1146

(行政側問い合わせ先)

佐伯河川国道事務所 工務課
tel 0972-22-1880 fax 0972-23-2726

延岡河川国道事務所 調査第二課
tel 0982-31-1155 fax 0982-22-0489